

令和8年度 ゆいまーる習志野介護老人福祉施設 運営推進会議次第

日時 ; 令和8年5月12日(火) 11:00~12:00

場所 ; ゆいまーる習志野地域交流スペース

参加者; 施設長、主幹兼介護支援専門員、相談員 計3名

利用者・家族:2名 地域包括支援センター:2名 民生児童委員:2名

1、はじめに

ゆいまーる習志野介護老人福祉施設 施設長

2、状況報告

- ・利用状況
- ・事故件数
- ・ご利用者様レントゲン撮影について
- ・車椅子の購入について
- ・行事・レクリエーション報告

3、現場見学

4、質疑応答、ご意見要望等

5、おわりに

- ・ゆいまーる習志野介護老人福祉施設 主幹

R8.5 ゆいまーる習志野 地域密着型介護老人福祉施設運営推進会議

担当者: ゆいまーる習志野地域密着型介護老人福祉施設
相談員

① 利用状況

月	在籍者延人数	実利用者延人数	稼働率	平均介護度	新規入所	退所
3月	612人	602人	97.0%	3.8	2人	1人
4月	570人	570人	95.0%	3.9	0人	0人

② 事故件数

月	転倒	転落	その他
3月	2件	0件	0件
4月	1件	0件	0件

(事故内容)

3月 事故報告(転倒 2件)

・事故① 転倒

〈発生状況〉

4時頃ナースコールあり。職員が訪室すると、本人より「1人でトイレに行こうとして転んだ」と報告あり。

〈原因〉

前日の夕方頃より落ち着かない様子や幻覚症状がみられていました。また、寝不足の影響もあり、足元がおぼつかない状態であったことが転倒につながったと考えられる。

・事故② 転倒

〈発生状況〉

0時10分頃、センサーマット反応あり。職員が居室へ訪室し、本人より「トイレに行きたい」と訴えあり、トイレ誘導を実施。トイレ内で排泄動作を行っていただき、職員はトイレ外で見守りをしていたが、本人がズボンを下ろそうとした際にバランスを崩し転倒された。

〈原因〉

排泄時における見守り・介助の必要性について、職員の認識が不十分であった。特に立位保持が不安定な状態であったにもかかわらず、近接した見守りや介助が不足していたことが要因と考えられる。

4月 事故報告(転倒 1件)

・転倒

〈発生状況〉

15時20分頃、居室よりナースコールあり。職員が訪室すると、トイレ前で転倒している本人を発見。本人付近には椅子が倒れている状態であった。

〈原因〉

普段は歩行器を使用して移動されているが、居室内では使用していなかったため、移動時にバランスを崩し転倒したものと考えられる。また、最近歩行器の使用を忘れる場面が増えており、認知機能や注意力の低下も影響している可能性がある。

③ ご利用者様レントゲン撮影について

4月27日(月)ご利用者様の年1回実施している胸部レントゲンをおこないました。検査結果の内容によっては、内服薬の見直しや後日の再検査、または医療機関の受診が必要となる場合がございます。こうした対応を行うことで、利用者様の健康状態を適切に把握し、日々の健康管理に繋げてまいります。

④ 車椅子の購入について

今年度、自動ブレーキ機能付き車椅子およびリクライニング型車椅子を各5台購入しました。自動ブレーキ機能付き車椅子は事故予防および生活環境の向上を目的に、リクライニング型車椅子は重度利用者の安楽な生活支援を目的として活用していきます。

⑤ レクリエーション報告

3月 梅を見ながらの散歩、ひな人形の展示



4月 さくら祭りへの参加

